

報告文

平成 25 年度 札幌開発建設部 部長賞を受賞して



共通事業本部 地質部
技術士（総監・応用理学・建設） 長瀬 眞央

このたび、弊社が受注いたしました「道央圏連絡道路 長沼町外 長沼南幌道路軟弱地盤解析業務」におきまして、平成 25 年度 北海道開発局優良工事等表彰（部長賞：業務部門）ならびに技術者表彰を受賞させて頂きました。関係各位に対し、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

本業務は、北海道開発局によって整備が進められている「道央圏連絡道路（千歳市から小樽市銭函に至る延長約 80km の地域高規格道路）」のうち、南長沼 IC から南幌 IC に至る「長沼南幌道路（延長 14.6km）」区間の軟弱地盤対策に関わる地質解析業務です。

当該路線では、馬追丘陵縁辺部を通過する区間において谷埋め盛土が計画されているほか、石狩低地帯に属する沖積平野部では泥炭性軟弱地盤が分布することなどから、道路盛土や各種道路構造物周辺地盤の沈下やすべり破壊のほか、送電線鉄塔などの近接構造物への影響が懸念されていました。

このことから、本業務では当該路線における地形・地質等の地域特性や土地利用状況のほか、本業務の背景等も勘案し、経済的で合理的な道路を構築するための軟弱地盤対策工の検討を行ないました。特に地盤解析においては、別途発注されていた地質調査業務との連携のもと、地盤構成と性状の詳細把握に努め、効率的で的確な解析区間の設定を行なったほか、一般には圧密沈下対象層として扱われることのない洪積層に対しても当該道路に対する影響の検証を行ない、想定外の過大な沈下が発生しないことを確認しました。さらに対策工の立案に際しては、立地条件や供用までの残期間を考慮した複数の対策案を提示するなど、事業全体における位置付けや「コスト縮減」を意識した提案にも心掛けました。

本業務は、同時進行で道路設計・構造物設計・防雪対策検討業務等が発注されたこともあり、これら関連業務との調整を図りながら解析を進めていくなどの点で工程管理や品質管理にも非常に苦労しましたが、使命感あふれる担当職員の頑張りやと全社横断的な協力体制により当社の技術力を十分に反映させた業務成果を納めることができました。また、このような中、ご発注担当者の方々との打合せにおいても毎回、非常に有益なご指摘やご助言等をいただけたことも当業務を担当した職員全員の貴重な財産となりました。

最後になりますが、本業務の遂行にあたり御指導を賜りました北海道開発局札幌開発建設部千歳道路事務所の皆様には、この場を借りて御礼申し上げます。